

心も体も元気な子どもを育成するために、家庭みんなで「はやねはやね」の歌を歌いましょう!!

号外

須江小便り

平成29年9月11日



石巻市立須江小学校

学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

4月に、6年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果の概要についてお知らせします。

[国語]

◆「知識に関する問題（A問題）」

- 本校の平均正答率は、全国平均及び宮城県平均よりも低いという結果でした。問題別に比較しますと、「手紙の構成を理解し、後付けを書く」問題や「目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む」問題は全国や宮城県の平均よりも高い正答率となりました。

「俳句の情景を捉える」問題や「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く」問題は正答率が低くなっていました。

漢字に関しては、読むことよりも書くことが苦手という傾向が見られました。

◆「活用に関する問題（B問題）」

- 本校の平均正答率は、全国平均及び宮城県平均よりも低いという結果でした。問題から比較しますと、「目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」問題や「物語を読み、理由を明確にして、自分の考えをまとめる」問題に関しては、全国や宮城県と同じ程度の正答率となりました。

「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く」という記述式の問題に関しては正答率が低くなっていました。

[算数]

◆「知識に関する問題（A問題）」

- 本校の平均正答率は、全国平均及び宮城県平均よりも低いという結果でした。問題別に比較しますと「具体的な問題場面でかけ算の式をたてる」問題は、全国や宮城県の平均よりも高い正答率となりました。

「たし算とかけ算が混合した整数と小数の計算」や「 $5 \div 9$ を分数で表すことができる」問題は正答率が低くなっていました。

◆「活用に関する問題（B問題）」

- 本校の平均正答率は、全国平均及び宮城県平均よりも低いという結果でした。問題別に比較しますと「資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる」問題や「式の中の数の意味を表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できる」問題は、全国や宮城県と同じ程度の正答率となりました。

「平均の求め方を記述する」問題や「基準量と割合を基に、比較量を判断し、その理由を記述する」問題は、正解率が低くなっていました。

[質問紙調査]

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」と回答した児童の割合が全国平均及び宮城県平均を上回っています。いじめのない学校を今後も継続していけるように努めていきます。「感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」と回答した児童の割合は全国平均及び宮城県平均を上回っています。やはり書くことに関して抵抗を感じている児童が多いようです。書くことの意欲も高めながら指導していきたいと思えます。

学校では、今回の結果を基に、各教科の指導の在り方を学校全体で見直し、指導の改善を図っているところです。ご家庭におきましても、ノーゲームデーの声掛け等これまでと同様にご協力をお願い致します。